

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長萩野幸弘議員、副委員長菊池美也議員）は、条例3件、予算4件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。

本庁舎請負契約変更で工期はどのようになる

問 今回の変更は、計画段階で設計し積算されていたのか。

答 基本設計の中で予定はしていたが、当初は限られた予算のため発注を見送った。今回はその部分の変更請負契約である。

問 工期は示されていないが、変更は無いのか。

答 当初は3月末までの工期であったが、最

終的な工期は7月末に完成することで進める。

問 工期延長の理由は。

答 今回の変更は、現場発注時に敷地内の住居等の解体が着工時期までに終了できず、工期を伸ばさざるを得なかった。当初は、全て工期内でできるものと見込んでいた。

問 今後、工事費の追加はないか。

答 予算の増額はないということを進めている。

市の除雪対策は

問 除雪対策会議とはどのようなものか。

答 その年の除雪業者との打ち合わせ会議である。

問 市民と除雪方針や情報交換の場があればと思うが。

答 過去には行っていない。

問 区長や地域の方々との話し合いで、業者が困難な所を、地域の方にトラクター等で除雪をお願いするなど出来ると思うが。

答 平成23年度に遠野市雪対策検討委員会を立ち上げ、区長会会長、社会福祉協議会会長、市民の代表等で除雪課題を検討した。平成26年度以降は区長等に示し、それに基づいて除雪をしているところである。今後充実した除雪対策を考えていく。

社会福祉協議会運営支援事業の内容は

問 事業の詳細は。

答 福祉センター内の松崎地区センター事務所等の移設工事、レクリエーション遊戯室の天井改修工事をおこなう。

問 レクリエーション遊戯室の天井改修に至った経緯は。

答 昭和60年に整備された施設で、31年を経過している。今年度、雨漏り対策等の工事をした際、天井を吊り下げていた部材の破損、接合部のズレが発見された。落下の危険性があり改修する。

問 非構造部材（窓枠やガラス、外壁など）の耐震化の推進が必要では。

答 耐震基準は満たしている。非構造部材については、日常の点検を行っており、現時点

で危険な箇所はないと把握している。

問 乾いたけの被害後の生産実態と現状は

答 震災前は59名の生産者が約40万本のホダ木で生産していた。震災後の平成24年度から取り組んできている対策事業の実績は。

答 今回の補正予算を含め全体として41名で

19万4750本になる見通しである。

問 平成27年春に植菌して、28年の秋に発生した、しいたけとホダ木の放射性セシウム検査結果で、指標値を超えた件数は何件あるのか。

答 具体的な数値は持ち合わせていないが、ホダ木から指標値を超える検査結果がでていると聞いている。

問 指標値超えには様々な原因が考えられるが、供給原木の検査内容の強化や土壌検査も必要ではないのか。

答 検査は、岩手県が実施している。平成29年の原木供給からは、今回の実態を踏まえ、調査本数を増やし精度を高めるとともに、継続して空間線量や土壌検査も実施していくと聞いているので一体となつて取り組みを強化していきたい。

インバウンド体制整備の推進を

問 東北観光復興対策事業の内容は。

答 台湾の旅行会社やマスコミの招へい、台湾向け観光情報ウェブサイトにへの情報掲載、台湾で開催されるイベント等に出向いての 프로모ーション活動。花巻・遠野・平泉観光推

長引く学校の雨漏りなどへの対応は

問 約10年前から体育館の雨漏りと天井からの白い粉の飛散が続き、未だ解決されないのはなぜか。

答 体育館の他にプールの問題や校舎、トイレの問題等があり、これを総合的に行うために財源が伴う。総合教育会議で現状課

問 実施計画は5年ごとに見直されており、今まで2回の見直しがあったことになる。それでも実行できなかつたのはなぜか。時間が経過したことにより複数の課題が重なつてき

ているのでは。教育現場の環境について教育長の考えを問う。

題を組み立てながら計画をつくっていく。

答 昭和40年から50年にかけて整備してきた施設に老朽化が進んでいる。子ども達の安全安心の確保を優先し、学校施設の現状を総合教育会議で情報共有できたと思つている。これを基に再度実施計画等の見直しを図って、一歩二歩と前進するよう取り組んでいく。

問 冬場はトイレが使用できないが。

答 野球場は10月末、運動公園全体は11月末で閉鎖。それに伴い電気を止め、トイレも閉栓している。冬場の使用は難しい。ご理解をいただきたい。

問 遊具の種類は。

答 保護者の代表や保育協会などから意見を伺い、遊具の選定を進める。ゴールデンウィークの供用開始を予定している。

公園遊具の充実を

問 遠野運動公園遊具設置工事の内容は。

答 「遊具の充実」に対する要望が多い。「子育てするなら遠野推進事業」の一環として整備する。既存のわんぱく広場の奥にある複合遊具は、トイレや駐車場から遠く、またベビーカーには不便。そこで

子育てするなら遠野推進事業とは

平成27年3月に策定した「遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：わらすっくプラン）」で取り組むとした子ども・子育て支援の総合的な事業



学習活動の基盤として安全で安心な環境を確保



1月12日開催の放射能汚染対策特別委員会の様子